

# 調臨才2 7月基本答申粉碎 『6・5労働者集会』の成功 勝ちとろう



82.5.28 No.1055

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)四三三二七二〇七

5・23反核東京行動への40万労働者の決起、とりわけ23・24連続決起をもってこの爆発を牽引した三里塚を叩く勢力の力強い前進は、日本支配階級の戦争へむけた反動攻勢に対する広範な人民の底知れぬ怒りと決起のあらわれといえます。  
5・23・24連続闘争に決起した又ローガン「反戦反核・三里塚へ」臨調基本答申粉碎を、動労千葉主催「6・5労働者集会」の圧倒的大成功によって、必ずや実現していかうではありませんか。

叩かずして「臨調」攻撃の軍門に下る既成指導部をのりこえ叩こう

今日、戦争にむけ軍事大国化・改憲の道をつぎ進む日本支配階級は、戦後体制を一変させる反動攻勢をかけてきています。  
これに対し、日本の労働運動の状況はどうでしょうか。敵の反動攻撃と対決し、反撃の叩いを組織するどころか、支配の側自身をすりよせ、右翼特戦「統一」による運動の危殆を回避しようとし、その事が逆にますます敵の攻撃を助長し、戦局的に叩く労働者を、労働組合の名のもとに排除するといふ、否定すべき現状にあります。とりわけ、マヌコミによる「ヤミ・カラ・国賊」キャンペーンに始まり、自民党三里塚小委員会答申にぞた「悪徳行の是正」に名をかりた、既得権剝奪「オニマル生攻撃」として5月17日に発表された才二臨調才四部会報告こそ、戦争動員体制構築にむけた、日本支配階級による国鉄労働運動解体攻撃に他なりません。

にもかかわらず、国労中央、特に動労本部革マルは、「冬の時代だから」とか「ストをやれば敵の思うツボにはまる」などと一言、労働者の決起を圧殺するばかりか、あろう事か「今は当局と一緒にあって国鉄を守るべきだ」と、「傍らう運動」路線を組合員に強要し、産業報国会化運動の先兵として立ちあらわれていきます。それどころか、叩く労働者を権力にタレコミ、弾圧・処分を権力や当局に要請してまわるといふ恥ずべき警察労働運動の担い手として裏切りを純化しています。

5・23・24、数十万決起をひきつぎ  
三里塚―国鉄で六、七月総決起へ

今日、国鉄当局による既得権剝奪攻撃と指導部の屈服の中で、職場生産点の国鉄労働者の怒りは爆発寸前にあり、国鉄労働運動をめぐる状況は7月臨調基本答申をひかえて、かつてない流動化と再編過程に突入しています。5・23反核東京集会への40万人を越える決起はその事を示しています。この40万の労働者の危殆感と怒り力が、17年間にわたって非妥協の更力闘争を貫く反戦・反権力の若「三里塚、80年代を牽引する力をもたせ、全人民共闘の唯一の叩いの結集軸」三里塚にしっかりと結合したとき、それは真に巨大な変革の力を発揮するので

すべての国鉄労働者は、臨調答申粉碎「6・5労働者集会」に総決起しよう

7月臨調基本答申を粉碎せよ！ 今こそ、動労千葉の三里塚・反合を叩く労働運動の路線のもとに、全国鉄労働者の怒りの総決起！ 総攻撃をかちとっていかねばなりません。そのために、動労千葉が主催する「6・5労働者集会」の圧倒的大成功をかちとり、三里塚・反合を叩く労働運動の力強い潮流を大きく創り出し、反撃の叩いを開始しようではありませんか。

5・23・24勝利の力をひき継ぎ、六、七月、臨調基本答申粉碎・三里塚二期着工阻止の総決起にうってこよう！  
「6・5労働者集会」の圧倒的成功にむけ、全力で決起しよう！

**6・5労働者集会**  
第二臨調基本答申粉碎  
国鉄労働運動解体攻撃粉碎 動労千葉の  
不当弾圧許さず三里塚二期着工阻止  
中野洋行 千葉市民会館  
6月5日(土)17:30  
動労千葉